

自然共生社会を目指した取り組み

地域に密着した事業を営む京阪グループは、豊かな自然環境から多大な恩恵を受けています。事業活動が環境に及ぼす影響を認識し、さまざまなステークホルダーの方々と連携しながら、地域の豊かな自然環境の確保・保全に取り組んでいます。

比叡山の間伐材利用促進事業

当社では、平成25年度から、比叡山内の所有地約50haを対象とした森林経営計画(5年間)について大津市の認定を受け、間伐材利用促進事業に取り組んでいます。資源の循環と二酸化炭素の固定により地球温暖化防止に貢献するとともに、保水・土砂流出の防止・防風といった多面的機能が持続的に発揮されるよう、緑豊かな森林を育てます。



地域との協働による駅の緑化活動

京福電気鉄道(株)では、花と緑がいっぱいの沿線とすることを目的に、沿線の皆さまとの協働事業として、平成21年から駅の緑化活動に取り組んでおり、西院駅など9駅にプランターや花壇、雨水タンクを設置しています。また、沿線の小学校で園芸教室を開催するなど沿線の方々や商店街のご協力を得ながら、環境にやさしく、お客さまに快適に感じていただける沿線を目指しています。



園芸教室

びわ湖の環境保全に関する取り組み

びわ湖を舞台に観光船を運航する琵琶湖汽船(株)では、環境方針に「琵琶湖との共生」を掲げ、事業基盤であるびわ湖における環境保護活動に積極的に取り組んでいます。



環境に配慮した船の運航

同社が運航する「megumi」は、造波抵抗の軽減による低燃費化のほか、バイオディーゼル燃料対応機関や太陽光・風力発電システムの搭載など、環境に配慮した観光船です。平成28年11月には、一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク主催の第2回「買うエコ大賞」で滋賀県知事賞を受賞しています。

環境保護を目的とした各種クルーズ

環境体験学習に対応した観光船「megumi」による「びわ湖環境体験学習クルーズ」では、びわ湖の「歴史」「水」「生物」をテーマに学習プログラムを提供しています。また、滋賀県内のすべての小学5年生を対象とした宿泊体験型の学習船「うみのこ」(滋賀県立びわ湖フローティングスクール)の運航も受託。学び体験の観点からのびわ湖の環境保護活動に取り組んでいます。

びわ湖の自然や食文化を体感できるクルーズにも注力しており、平成21年からは「耐ずし作り体験クルーズ」を開催。滋賀県と沖島漁業協同組合とともに、漁業と滋賀県伝統の食文化「耐ずし」の持続的発展を目指しています。



学習船「うみのこ」

桜の苗木の寄贈

毎年、公益財団法人滋賀県緑化推進会に桜の苗木を寄贈しています。開業90周年事業として昭和53年から開始したもので、累計の寄贈本数は平成29年3月現在で約10,000本になりました。今後も、湖国の緑化活動に協力していきます。



海津大崎の桜